

葬式

元気な今が考えるとき

なぜ、「生前予約」が大切なのか？

お葬式は生前予約・事前相談が大事。なぜ、事前にする必要があるのか、2組の夫婦を比較して考えてみましょう。



・夫婦で生前予約をしている
・エンディングノートも準備
・普段からお互いのお葬式について話す

準備派

A男さん・A子さん夫妻の場合

A男さんがある日、事故で突然亡くなったら...

1 葬儀社への連絡

A子さんは、A男さんが生前予約していた葬儀社に連絡。A男さんが事前相談で決めていた見積もりと希望をもとに、葬儀社の担当者と最終打ち合わせ。

《メリット》

- ・A子さんはゆっくり考え、交渉できる。
・葬儀社の説明を理解しながら、自分のペースで進められる。
・何度も打ち合わせをした担当者なので、A男さんのこともよく知っている。悲しみにくれるA子さんをサポートしてくれる。

2 参列してほしい人への連絡

親戚をはじめ、A男さんがエンディングノートに記しておいた自分の葬儀に来てほしい人のリストをもとに連絡。

《メリット》

家族でも知らない交友関係もあるので、生前に本人が参列者のリストを作っておけば、連絡が間に合わなかったり、葬儀が終わってから友人が知ったということを防げる。

3 遺影写真

A男さんが生前に決めたお気に入りの写真データを葬儀社に渡す。

遺影写真は葬儀の間、遺族や参列者が見守るもので、葬儀終了後も故人を偲ぶ対象になる大切な写真。納得できる一枚を使いたいもの。

4 通夜・告別式

A男さんが葬儀社の担当者と一緒に考えた、A男さんらしいお葬式が進行。

《メリット》 生前にA男さんが細かいところまで決めていたおかげで、A子さんは細かい打ち合わせに忙殺されずに済み、その時間を最期の別れの時間に費やすことができる。

5 故人の遺志

[A男さんの希望]

残される家族に負担をかけたくないので、祭壇や棺、骨壺などは質素なものでもよい。

A子さんは、A男さんの遺志を尊重して、祭壇などを選ぶときも迷わずに選べ、故人の希望に合ったお葬式ができる。

6 葬儀費用

A男さんが、事前に葬儀社で見積を作成していたおかげで、見積もりに沿って内容を進められ、A子さんが見込んでいた金額で収まった。A男さんは毎月の掛け金を支払う葬儀保険を利用していただけ、葬儀費用の負担を軽くすることができた。



準備のな派

・元気なときに生前予約なんて縁起でもない！
お葬式はなったときに大丈夫



B男さん・B子さん夫妻の場合

B男さんがある日、病気で突然亡くなったら...

1 葬儀社への連絡

B子さんはショックが大きい中、電話帳やインターネット、知り合いに聞くなどしてその日から葬儀社をあわてて探す。

《デメリット》

- ・B子さんは時間的にも精神的にも余裕がない中で、参列者のおおよその人数、宗教などの形式、会場などの条件から葬儀社を選ばなければならない。
・よく考える時間がない中で多くのことを決定しなければいけない。

2 参列してほしい人への連絡

親戚には連絡できるが、交友関係はB子さんでもすべてを把握していない。B男さんの住所録や電話帳などをもとに連絡するが、だれに連絡してよいか分からないB子さん。

《デメリット》 葬儀後に、B男さんが亡くなったことを知った友人は最期の別れができず心の整理ができないということも。

3 遺影写真

B男さんが元気だったころのスナップ写真を探すが、集合写真で小さく写っていたり、隣の人と重なって写っていたり、B子さんは探すのも一苦労。



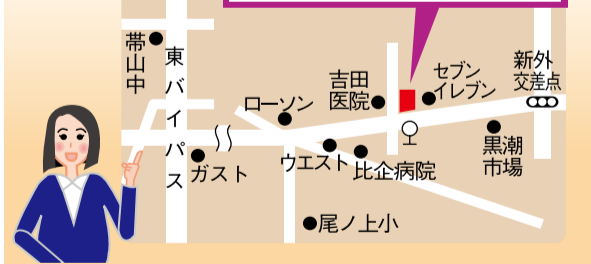
どんなに念入りに準備をしても、実際はそのときに決めなければいけないことも出てくるものです。元気なときに、ゆっくりと考え、準備をすることで、もしものときの負担を減らすことが、自分のためにも家族のためにもなります。

お葬式講座

喪主としての準備と心得

突然やってくるお葬式。大切な人を亡くし、自分が喪主の立場になったとき、あなたはどのようにしますか？慌てて困らないための準備と心得について、くまもと県民葬祭で教えていただきました。

ファミリースペース東京塚 灰塚バス停前



お葬式には、遺族の代表者として葬儀を行う「喪主」と、葬儀費用を支払う「施主」がいます。通常は、故人との縁が最も深い人が喪主を務めるため、故人の配偶者や親、子、兄弟などがなります。多くの葬儀では、喪主と施主の場合がほとんどです。

お葬式には、遺族の代表者として葬儀を行う「喪主」と、葬儀費用を支払う「施主」がいます。通常は、故人との縁が最も深い人が喪主を務めるため、故人の配偶者や親、子、兄弟などがなります。多くの葬儀では、喪主と施主の場合がほとんどです。

お葬式では見栄や世間体を気にし過ぎてしまうと、予算を大きく超えてしまつて後悔につながることもよくあります。また、高いグレードのものを選び、費用をかけて盛大にお葬式を行うからといって満足できるお葬式になるわけはありません。本人の希望を尊重し、気持ちを入れて送つてあげることが大事ではないでしょうか。

喪主と施主の違い、最大のポイントは事前準備、葬儀社を決めておく、遺影写真選びのポイント、喪主の心得で大切なこと

次回は「くま経プレス3月号」掲載... 身寄りがない... お葬式はどうしたらいい？

ホームページでお見積りシミュレーションができます。

自分が喪主の場合も生前からの準備が最大の対策... 迷ったときは故人の遺志を大切に